

令和4年度
第1回芽室町総合保健医療福祉協議会
『障害者部会』 議事録

日時 令和5年3月2日（木）15:00～15:55
場所 芽室町役場 2階 第7会議室

健康福祉課障がい福祉係

○ 会議次第

- 1 開 会
- 2 課長挨拶
- 3 議 題

(1) 部会長の互選

(2) 第6期障がい者福祉計画及び第2期障がい児福祉計画の進行管理について(令和4年度事業)

- 4 その他
- 5 閉 会

○ 出席委員

紺 野 裕	明 瀬 禎 純
古 川 誠	小 池 和 枝
尾 崎 俊 明	小 西 和 弘
鈴 木 嗣 人	植 松 哲 子

○ 事務局

健康福祉課	課長 大野 邦彦
健康福祉課障がい福祉係	係長 矢野 貴士
	主任 赤坂 貴明

子育て支援課	課長 佐々木雅之
子育て支援課	係長 大浦 啓介
子育て支援課	主査 莖田 千春
子育て支援課	発達支援センター長 有本 和晃
	係長 山崎 清

午後15時55分 開会

- 1 開会
障がい福祉係 赤坂
- 2 課長挨拶
挨拶：大野健康福祉課長
- 3 議題
(1) 部会長の互選
(2) 第6期芽室町障がい者福祉計画及び第2期芽室町障がい児福祉計画の
進行管理について
- 4 その他
次年度のスケジュール
- 5 閉会

■ 審議事項

《議題(1) 部会長の互選》

紺野委員より、古川委員を推薦。承認される。

《議題(2) 第6期芽室町障がい者福祉計画及び第2期芽室町障がい児福祉
計画の進行管理について》

- ・事務局より、令和4年度進行管理資料に基づき、両計画の進捗状況につ
いて説明。

【1. 早期発見及び早期支援】

Q：町内で民間等放課後等デイサービスが開設されたが状況は。

A：令和4年4月1日から、町内に民間の放課後等デイサービス事業所が
開設している。送迎を行う事業所として町内初であり、登録者数は令
和5年2月現在で13名と伺っている。

Q：相談支援体制の充実について、高い専門性を有する民間相談支援事業
所とはどちらになるのか。

A：相談支援事業所かしわのもりである。

Q：地域コーディネーターの複数配置について、前年度は部会の開催件数等を記載していたが、今年度はどうか。

A：子育て支援課のコーディネーターが調整を行い、発達支援部会を週に1回（月4回）開催している。

【2. 就労支援体制の強化】

Q：職場実習について、会計年度任用職員とは如何なる扱いか。

A：就労意欲を高めるために、芽室町会計年度任用職員として雇用し、辞令交付を行い賃金も発生している。実習に関しては、広報誌すまいる発送のみならず、図書館、給食センターなど活動の場を広げている。民間事業所についてはカルビーポテトだけでなく、建設現場への実習なども行っている。

Q：通勤サポートの関心度について。

A：工業労政係と連携して、町内の工業団地を中心に訪問を行った。興味を持っている企業も多く、企業と連携して安定的に行える事業としていきたい。しかし、1台の車で対応しており送迎の人数が限られているので、今後需要が高まってくれば課題となると思われる

【3. 生活支援】

Q：成年後見制度の利用促進について、町長申立の案件はあったか。

A：令和3年度は0件、令和4年度も現在0件であるが1件相談を受けている。

【4. 支援を広げるための施策】

Q：ふれあい交流まつり、ふれあい雪中運動会は名称を変更して継続していると捉えで良いか。平日開催というのはどうなのか。

A：名称変更して継続している。平日開催については、実行委員会で計画を行っている。今回は2年ぶりに開催し、規模も変更してのものであり盛況であったと思われる。

Q：広報活動の充実について、パンフレットの作成と記載があるがどのような支援であるのか。

A：どんぐり会のネット上のページ作成への支援等を行っている。また、手話通訳団体と連携して、現在芽室町で行っている「遠隔手話サービス」についてリーフレット作成などに取り組んでいる。

意見：町でいろいろな取り組みをされていると思うので、その取り組みをさらに普及啓発する方が良いと思われる。

《その他》

- ・事務局より、次回の会議は令和5年度の取り組みに関する進行管理のため、今年度同様、2～3月頃に開催する予定であることを説明。また、計画策定年度であるため、適宜開催を行う。
委員からの質疑なし。

午後15時55分 閉会